

宮城県内におけるガンカモ類生息調査の結果について

(平成25年3月7日実施)

1 生息数及び構成比

単位：羽

種類	羽数	構成比：%	備考
ガン類	70,186	59.0	3月調査の中では過去1番目
ハクチョウ類	6,948	5.8	3月調査の中では過去3番目
カモ類	41,742	35.1	3月調査の中では過去2番目
計	118,876	100.0	3月調査の中では過去1番目

2 前年同期との比較

単位：羽

調査月日	ガン類	ハクチョウ類	カモ類	計
平成25年3月7日	70,186	6,948	41,742	118,876
平成24年3月7日	43,790	8,895	45,341	98,026
増減	26,396	▲ 1,947	▲ 3,599	20,850

3 主な確認地

(1) ガン類

確認地	羽数	昨年の羽数
伊豆沼・内沼 (栗原市・登米市)	30,882 羽	22,414
化女沼 (大崎市)	23,892 羽	14,529
蕪栗沼 (大崎市田尻)	11,087 羽	2,563

(2) ハクチョウ類

確認地	羽数	昨年の羽数
鳴瀬大橋地点 (加美町)	1,650 羽	1
新岩出山大橋上流 (大崎市)	1,330 羽	0
化女沼 (大崎市)	541 羽	298

(3) カモ類

確認地	羽数	昨年の羽数
化女沼 (大崎市)	6,872 羽	3,822
伊豆沼・内沼 (栗原市・登米市)	5,078 羽	5,516
直沢大溜池 (大和町)	2,630 羽	1,510

4 調査箇所数

県内のガン、ハクチョウ、カモ等の飛来地約480箇所

5 調査人員

県職員、県自然保護員、蒲生を守る会及び日本雁を保護する会の会員等 98名

6 その他

本調査の内容については、宮城県自然保護課ホームページで確認できます。(明日以降更新)

HPアドレス <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sizenhogo/>

7 飛来状況

ガンカモ調査は、S44年度(S45年1月)から実施しているが、3月の調査はS47年度(S48年3月)から実施している。

3月調査では、過去最高の羽数である。原因としては、寒波が厳しかったため、まだ北に帰らず残っているとされる。